

第4章 公安情勢

大衆運動

原子力政策をめぐる運動

反原発運動は、平成24年5月に全ての原子力発電所が停止した後、7月の関西電力大飯発電所の運転再開を捉え、盛り上がりを見せました。大衆団体等は、現在も首相官邸前における抗議とこれに連帯した取組として全国各地での集会、デモ等を継続しています。

大衆団体等は、25年6月2日、都内で「6.2 NO NUKES DAY」集会、デモ及び国会議事堂周辺での抗議に取り組みました（主催者発表延べ約8万5,000人）。また、10月13日、都内で「10.13 NO NUKES DAY」集会、デモ及び国会議事堂周辺での抗議に取り組みました（主催者発表延べ約4万人）。

国内の原子力発電所は、関西電力大飯発電所が9月に定期検査入りし、再び全てが停止しました。電力会社は、原子力発電所の運転再開に向け、原子力規制委員会に安全審査を申請し、同規制委員会による審査が行われています。大衆団体等は、26年も引き続き、原発の運転再開等を捉え、反対運動に取り組むものとみられます。



「NO NUKES DAY」(6月、東京) (共同)

反戦・反基地運動

大衆団体等は、オスプレイの追加配備等を捉え、全国各地で反対運動に取り組みました。沖縄県の普天間飛行場野嵩^{のだけ}ゲート前における抗議行動では、8月に公務執行妨害罪で1人、9月に刑事特別法違反で1人をそれぞれ逮捕しました。

普天間飛行場の名護市辺野古移設に関し、大衆団体等は、沖縄県知事の公有水面埋立申請不承認を訴え、12月25日、沖縄県庁包囲行動に取り組みました（主催者発表約1,500人）。また、知事が承認した27日にも、承認撤回等を訴え、同行動に取り組んだほか（主催者発表約2,000人）、参加者の一部が沖縄県庁ロビーで座込み等の抗議行動に取り組みました。

大衆団体等は、26年も引き続き、普天間飛行場の移設やオスプレイの飛行訓練等を捉え、反戦・反基地運動に取り組むものとみられます。



普天間飛行場野嵩ゲート前における抗議 (8月、沖縄) (共同)

反グローバリズム等の社会運動

25年中に開催された国際会議をめぐっては、6月、英国のロック・アーンで開催されたG8サミットにおいて、英国の**反G8活動家ら約2,000人**が北アイルランドのベルファストで抗議行動に取り組みました。一方、国内の反グローバリズムを掲げる勢力等は、6月に横浜市内で開催された「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)」を捉え、アフリカの開発を口実とした先進国・大企業による資源搾取と主張して集会やデモに取り組みました。これら国内勢力は、海外で発生した大規模な抗議行動にも関心を払いながら、様々な社会運動に介入を図っています。



英国・G8サミットでのデモ(6月)(時事)

過激な環境保護団体

過激な環境保護団体「シー・シェパード」は、24年12月から行われた我が国の南極海調査捕鯨に対し、米国の裁判所が妨害活動を禁じる中で、**抗議船を捕鯨船等に衝突させるなど、過激な妨害活動に取り組み**ました。また、「シー・シェパード」は、24年9月から25年2月まで、和歌山県太地町のイルカ漁に抗議するため活動家を同町に派遣し、イルカ漁の様子をビデオ撮影したり、捕獲したイルカを水族館に搬送する際に執拗に追従するなどの「監視活動」を行っています。こうした「シー・シェパード」による監視活動は、和歌山県以外にも及んでいます。



捕鯨船に衝突するシー・シェパードの抗議船(財)日本鯨類研究所

雇用問題関連

全国労働組合総連合(全労連)は、労働者派遣法の改正反対や最低賃金の引上げ等を求める運動等に取り組みました。第84回中央メーデーでは、「くらしと雇用」、「原発ゼロ」等のスローガンを掲げて集会やデモに取り組んだほか、**青年層の雇用の安定化や就職難の改善等を目指した運動に取り組み**ました。全労連は、26年も引き続き、雇用情勢等を捉え、各種運動に取り組むものとみられます。



第84回中央メーデー(5月、東京)(時事)